



石巻港復興だより 第10号

(石巻港湾ひばりの通信 33号)

— 港湾は人の心も結んでいます —

石巻港湾合同庁舎が完成しました！

震災の影響により、泉町の法務合同庁舎で業務に当たっていた石巻海上保安署など5つの国の機関が港湾合同庁舎の完成に合わせ戻ってきました。6月中に順次移転し、業務を開始しています。今回は新たな合同庁舎を海上保安署田中次長様に案内頂きました。

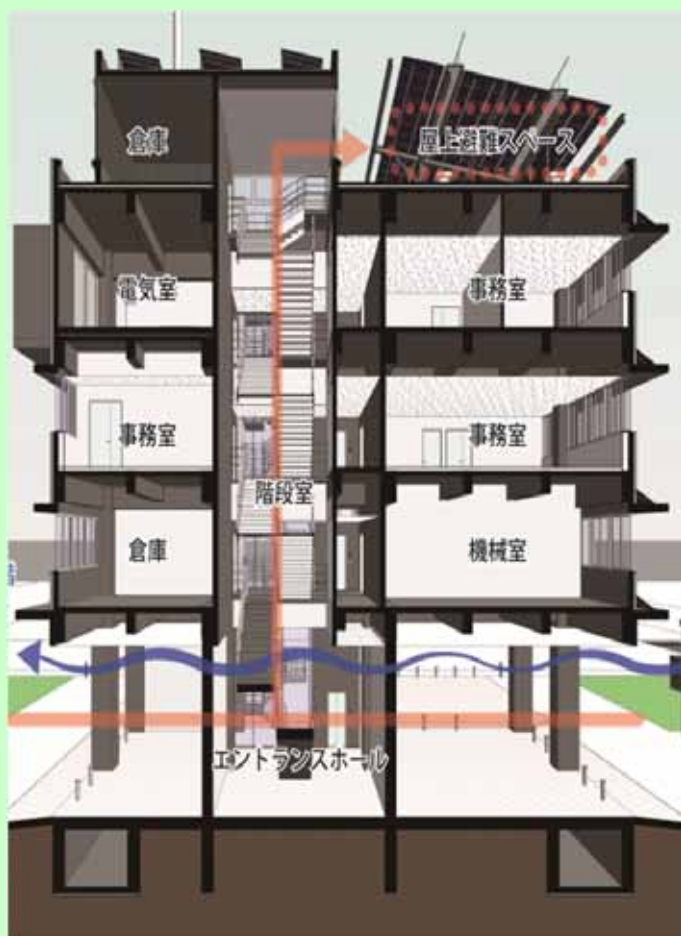
石巻港湾合同庁舎は地上5階建て。高さ22メートルの延べ床面積約2180平方メートルの鉄筋コンクリート造り。敷地は従来と同じ中島町に再建されました。

なんと言っても特徴は津波対策を施した建物であり、前回被害のあった浸水高さには執務室のない構造になっています。建物の一部は石巻市が防災備蓄倉庫として整備し、石巻市の7番目の津波避難ビルに認定されており（石巻港では2番目）、国の港湾業務の拠点はもとより、災害時の利活用も期待されています。

釜北線側から 北



釜中線側から 南



5F：防災備蓄倉庫（121㎡）

4F：石巻海上保安署

3F：横浜税関仙台塩釜税関支署石巻出張所、
東北運輸局石巻海事事務所、
横浜植物防疫所塩釜支所石巻出張所

2F：仙台検疫所石巻出張所

1F：エントランスホール



津波避難ビルはこのマーク
が目印です。



認定ビルの証
「津波避難ビル
協定事業所 第7号」

備蓄倉庫



収容人数516名、食糧約700食や飲料水約780リットルの他、毛布や簡易トイレを整備。安全・安心を提供してくれます。

屋上避難スペース



避難スペースは合わせて516人収容でき、屋上はソーラーパネルが優しい底になっています。夏の暑い時でも涼しく、雪が降っても大丈夫。

避難階段ゲートには防犯上、通常セキュリティがかけられ、施錠されています。非常時には解除されますので、手順に沿って慌てずに解錠してください。

避難階段体験してみました。

避難階段



避難階段は、ステップも広く登りやすい構造ですが、登り切るのは中々の運動量です。
日頃からの体力維持をおすすめします。

避難実践する丹野技師
H26.4 採用の新人です。

避難階段のゲート



非常発電施設&機械室



田中次長様、お忙しい中案内頂きありがとうございました。

港湾行政に加え、港湾施設周辺で働く人たちに新たな安心を提供頂ける施設が完成です。

避難施設として使われないことが一番かもしれませんが、備えあれば憂いなしですね。

非常発電は停電時に72時間運転可能。
給水施設は4800人が利用できます。

「宮城防災の日」に総合防災訓練・避難訓練を実施しました

宮城県では、昭和53年に発生した宮城県沖地震から36年を迎えた6月12日に、総合防災訓練が取り行われました。

石巻港湾事務所は立地場所が津波浸水想定区域に該当する為、大津波警報発令の際には事務所機能を東部下水事務所へ移転する事となっております。今回、避難訓練とあわせて事務所移転方法の確認を行いました。

★避難訓練★

職員17名が徒歩により国道45号線まで迅速に避難

(もくもく歩いて約15分要しました)



★事務所機能移転訓練★

東部下水事務所へ移動し、事務所機能移転



★連絡訓練★

大規模災害発生後の連絡体制やパトロール体制を強化するべく、大津波警報発令～解除後に大雨洪水警報が発令された想定によりロールプレイング方式を取り入れた訓練を行いました。



ロールプレイング方式とは

現実に近い状況を想定した災害の発生や関係機関の行動を設定し、与えられた課題を解決する能力を身につけるための演習のこと。



関係機関との連絡体制が整って
いなかったり、災害発生箇所の地図の
不備などの問題点が多数発生した
ため、今回の反省を踏まえ、非常時に迅速な対応ができるよう今後も訓練を行って参ります。

【近隣の津波避難ビル】

●石巻港湾合同庁舎

住所：石巻市中島町15-2

収容人数：516名

避難場所：5F、屋上

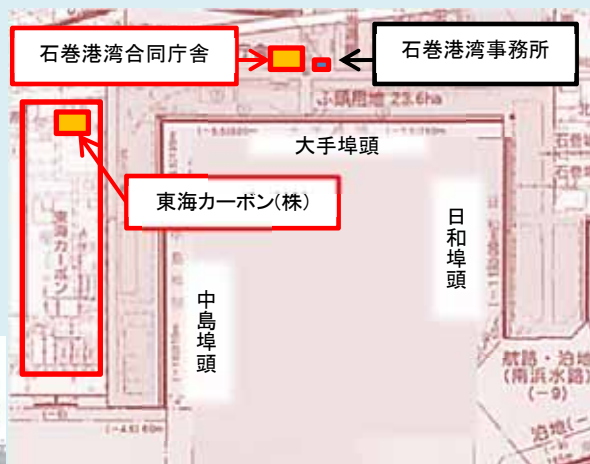


●東海カーボン株式会社 石巻工場

住所：石巻市重吉町1番10号

収容人数：216名

避難場所：3F、屋上



※津波避難ビル：津波発生時に津波浸水域外の、より高い場所へ避難し遅れた市民の安全を確保する為に民間事業者等が設置する施設を活用し、津波一時避難場所としています。



地震が発生したら身の安全を確保し
高い所へ避難しましょう

大型客船「にっぽん丸」が寄港しました！

「にっぽん丸（客船）」乗客定員 524 名（今回寄港乗客：363 名 乗組員：196 名）
（総トン数 22,472 t、全長 166.6m、全幅 24.0m）

「美味なる船」との愛称を持つ客船『にっぽん丸』が、6月12日に石巻に寄港しました。震災後3回目となる寄港で、石巻では中島埠頭にてウェルカムフェスタが催され、雨の中、多くの皆様にご来場いただきました！



船内の見学会は573名もの皆様からご応募いただき、抽選の結果76名の皆様が見学されました。

ボクも！



あいにくの天候不良により船内での歓迎式典に変更されましたが、和やかに執り行われました。



その他にも観光 PR コーナーや、雄勝のホタテの振る舞い、大学によるブースなど、沢山のイベントでおもてなしました☆



出港セレモニーでは強風の為花火等中止されましたが、出港時には雨が上がり幻想的な景色の中、ペンライトによるお見送りをしました♪



船が見えなくなってもしばらくの間、乗客の皆様との別れを名残惜しみ振り続けていました★
皆様、またのご寄港をお待ちしております♪

今後の大型船舶の寄港予定

- 10/16(木)～20(月) 「海王丸(帆船)」乗客定員199名
(総トン数 2,556t、全長110.09m、全幅13.8m)
港湾感謝祭：10月18日～19日開催予定

にっぽん丸♪
海王丸★
ボクむすび丸♥

今回なんと！「海の貴婦人」と呼ばれる帆船「海王丸」が寄港予定です！
前回台風の為、帆船『日本丸』の寄港が取りやめになり、披露が叶わなかった
セイドリルと呼ばれる帆を張る訓練や、船内の一般公開など企画がされています。
楽しみにしててください♪



- 10/31(金) 「ぱしふいっくびいなす(客船)」乗客定員620名
(総トン数 26,594t、全長183.4m、全幅25.0m)
ウェルカムフェスタ：10月31日開催予定

「洋上の楽園」と呼ばれる『ぱしふいっくびいなす』が、昨年9月に引き続き寄港予定です。
白く美しい外観もさることながら、船内は絢爛豪華★前回見逃した皆さんも、前回でやみつきに
なった皆さんも、是非お越しください♪

雲雀野北埠頭 SOLAS ゲート運用再開しました！

東日本大震災の影響により運用を停止しておりました
SOLAS ゲートですが、この度、3月再開の雲雀野中央埠頭に続
き、フェンスの復旧工事が完了した雲雀野北埠頭に於て5月26日
(月)より運用を再開しました！

ゲートを通る際には身分証明書による3点確認を受けるか、
またはPSカード(制限区域立入許可証)をご提示いただく事
になります。自由に出入りする事は出来ませんのでご了承ください。

今後、復旧に伴い随時運用を再開する予定です。工事に伴い港
湾をご利用の皆様にご不便をおかけいたしますが、ご協力宜しく
お願い致します。

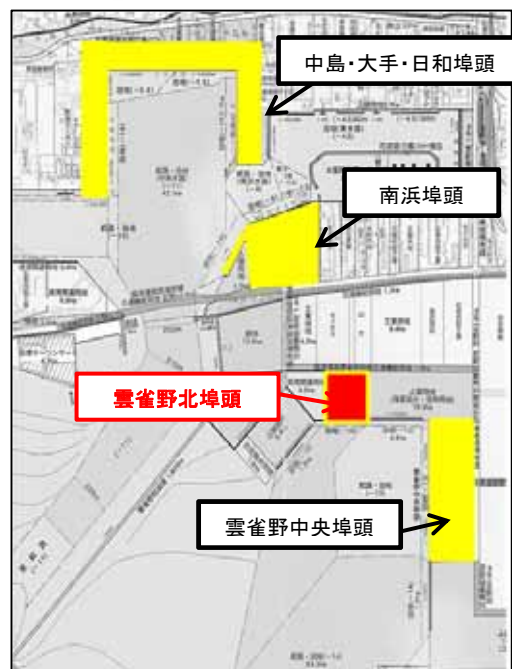
警備員立哨による開放時間

06:00～22:00

23:00～23:10



詳しくは石巻港湾事務所港政班までお問い合わせください。



放射線について安全性を引き続き確認しています

石巻港では、大気中の放射線量を週2回(火曜日・金曜日)、海水中の放射線濃度を概ね2週間に1回程度測定し、港の安全性を確認しています。

大気中の放射線量

月	各月平均値	各月最大値
1月	0.053	0.059
2月	0.051	0.063
3月	0.055	0.064
4月	0.051	0.059
5月	0.052	0.059

(単位 μ Sv/時)

海水中の放射線濃度

月	放射線ヨウ素	放射性セシウム
1月	不検出	不検出
2月	不検出	不検出
3月	不検出	不検出
4月	不検出	不検出
5月	不検出	不検出

※詳細計測結果については、ホームページで随時公表しておりますので、ご参照ください。

港湾課 HP(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kouwan/housyano.html>)



取扱貨物量の推移

おかげさまで今年も
順調に推移しております♪

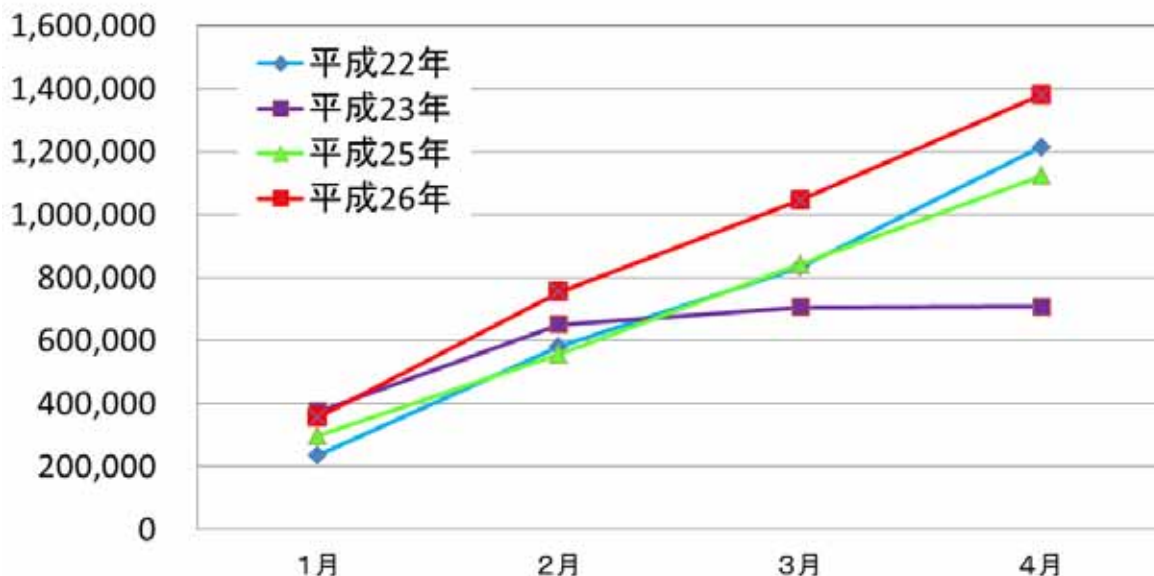
岸壁の復旧に伴い、震災前(H22年)の貨物取扱量の推移と比較しても、今年は年始から順調に増加しています。

▼4月末比較▼

H22: 約121万t H26: 約138万t (113.7%)

ト

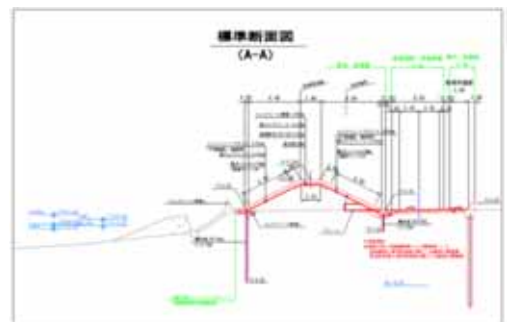
取扱貨物量(累計)の比較



石巻港区の防潮堤復旧工事

東日本大震災で被災した西浜、東浜防潮堤の災害復旧工事が本格着工しました。

(平成 28 年度完成予定)



地方港の復旧状況

女川港・湾口防波堤



○女川港湾口防波堤(順調に進んでおり、28 函中
16 函の据付が完了！)
(平成 27 年度完成予定)

自治法派遣職員

石巻港湾事務所では、地方自治法に基づき、今年度も県外の自治体から支援を頂き、7 名の職員の方々にご活躍して頂いております。

秋田県から 3 名(内 1 名は 3 年目)、富山県から 3 名、新潟県からは昨年 10 月から引続き 1 名の応援を頂いております。職員とともに港湾の復旧復興にむけて邁進していきます。



右手前より菊地さん(秋田)、小松さん(秋田)、佐藤さん(秋田)
左手前から田畑さん(新潟)、中林さん(富山)、久木さん(富山)、
森林さん(富山)

雄勝港・唐桑地区物揚場



○雄勝港唐桑地区の物揚場災害復旧工事が本格着工
しました！
(平成 26 年度完成予定)

編集後記

今年度最初の発行です。4 月の人事異動により約 3 分の 1 の職員が入替わりになりました。気持ちも新たに、復旧復興に邁進していきます。今年度は、宮城県震災復興計画における再生期の初年度にあたります。西浜防潮堤も本格着工することとなりました。港湾の施設や地域が再生して来ていることが実感できる年になればと願っています。

編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話:0225-95-6271(総務班)

同一6272(港政班)

同一6251, 0167(工務班)

FAX:0225-95-6273

E-MAIL:iskown@pref.miyagi.jp

HP:<http://www.pref.miyagi.jp/is-kouwan/>